

2021年6月期 決算説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス
2021年8月11日



目次

1. 2021年6月期 決算概要
2. 2022年6月期 見通し
3. 配当方針
4. 参考資料

1. 2021年6月期 決算概要

事業セグメント区分の変更

- 海外事業を行う「グローバル資源循環事業」と「中古自動車関連事業」を統合しシナジーを強化。
- 「リチウムイオン電池リサイクル事業」はグループの戦略的事業として、今後予定する湿式製錬等の事業内容・規模感・アライアンスを考慮し「資源循環事業」から独立。

事業セグメント	概要	事業会社
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ◇リサイクル（再資源化） 金属スクラップ・廃棄物等を破碎し、モノの物質特性の違いを利用して素材ごとに物理選別し再資源化を行う。 ◇リマニュファクチャリング（再生産） リサイクル技術を一步進め、廃棄物やスクラップ等から再生原料・製品の製造を行う。 ◇リユース（再利用） 中古製品・部品を機能や価値をそのままに流通を行う。 	 (株)エコネコル (株)クロダリサイクル (株)しんえこ (株)東洋ゴムチップ 持分法適用関連会社 (株)アビツ (株)富士エコサイクル
グローバルトレーディング	金属、プラスチックスクラップ、バイオマス燃料等の多様な資源と、高品質な中古自動車、重機、トラック等の多様なリユース商材を扱う。全世界で発生する商材を「より必要とされるところへ」流通を行う。	 (株)NEWSCON (株)3WM
リチウムイオン電池リサイクル	リチウムイオン電池等の充電式電池を放電・破碎し、モノの物質特性の違いを利用した選別によりレアメタル（ニッケル・コバルト等）を回収するリサイクルを行う。	 (株)VOLTA
その他	障がい者就労支援等を行う。 企業の環境戦略立案やCO2削減計画の支援等、環境経営に専門特化したコンサルティングサービスを行う。	 (株)アストコ (株)ブライティノベーション

連結業績

売上高	40,933百万円	(前期比 20.8%増)
営業利益	2,130百万円	(前期比 169.6%増)
経常利益	2,508百万円	(前期比 168.3%増)
税金等調整前当期純利益	2,101百万円	(前期比 128.8%増)
<u>当期純利益</u>	1,491百万円	(前期比 147.8%増)

主要TOPICS

- 鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級価格）は前期末24,500円から当期末51,500円となり、当期平均価格は36,054円と、前期平均の22,943円を上回って推移。また、金、銀、銅、アルミ、ニッケル、コバルトの平均価格も前年を上回って推移。
- リチウムイオン電池リサイクル事業で減損損失、グローバルトレーディング事業で貸倒引当金繰入額及び事業再編損等、特別損失合計834百万円を計上。一方、政策保有株式の売却等により特別利益合計427百万円を計上。
- リチウムイオン電池リサイクル事業は大手電池メーカーとの取引がスタートし、集荷・生産・分析・販売体制の整備が進捗。但し経常損失80百万円を計上。
- 世界的な輸送用コンテナ不足を背景とした貨物船の需給逼迫、海上運賃の高騰。
- 設備投資6億円（検収ベース）

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益
（金額、数量は切り捨て表示：％は四捨五入表示）

2021年6月期 連結損益計算書概要



(単位：百万円)

	2020年 6月期	2021年 6月期	前期比		2021年 6月期	5/14開示比	
	実績	実績	増減額	増減率	5/14開示	増減額	増減率
売上高	33,879	40,933	7,054	20.8%	40,400	533	1.3%
売上総利益	6,861	8,364	1,503	21.9%	—	—	—
営業利益	790	2,130	1,340	169.6%	1,918	211	11.0%
経常利益	934	2,508	1,573	168.3%	2,229	278	12.5%
税金等調整前 当期純利益	918	2,101	1,183	128.8%	—	—	—
当期純利益※	602	1,491	889	147.8%	1,291	199	15.5%
限界利益※	6,632	8,023	1,390	21.0%	—	—	—
EBITDA※	1,389	2,868	1,479	106.5%	—	—	—
純粹固定費※	5,821	5,895	74	1.3%	—	—	—
ROE	5.3%	12.1%	6.9%	130.0%	—	—	—

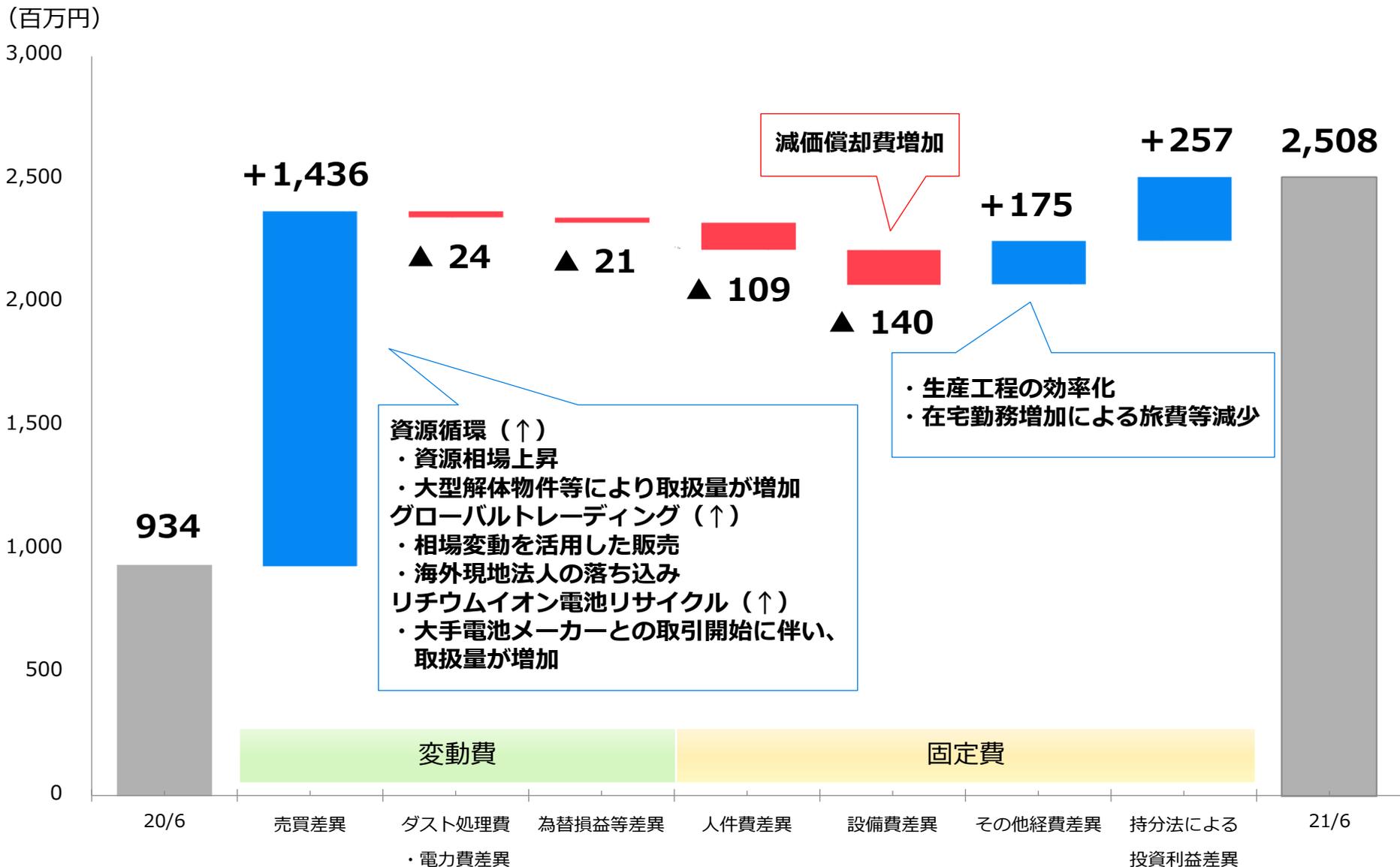
※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※限界利益＝売上高－変動費

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却

※純粹固定費＝【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】－【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

連結経常利益差異分析（前期比）



2021年6月期セグメント別業績



(単位：百万円)

		2020年6月期	2021年6月期			
		実績	実績	前期比		構成比
				増減額	増減率	
資源循環事業	売上高	10,746	14,216	3,470	32.3%	30.9%
	経常利益	540	2,080	1,539	285.2%	74.4%
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 鉄スクラップ、非鉄金属の平均価格は前年を上回って推移 ▶ 最終処分場の逼迫問題は廃棄物発生量の減少により緩和し、操業が安定 ▶ 廃棄物処理受託価格の是正の効果、生産工程の効率化により収益性を確保 ▶ 取扱量は大型解体物件から排出される鉄スクラップ仕入の影響もあり増加 					
グローバル トレーディング事業	売上高	25,792	31,033	5,241	20.3%	67.5%
	経常利益	638	711	72	11.4%	25.4%
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 海上運賃高騰や配船難、新型コロナウイルスによる海外事業の制限 ▶ 定期の販売スキームの活用、物流代行サービスの価格転嫁により収益を確保 ▶ 集荷ヤードの増設や三国間貿易により取扱量を確保 ▶ バイオマス燃料取引における貸倒引当金繰入額、中古自動車を取り扱うウガンダ現地法人の事業譲渡等による進出形態変更に向けた事業再編損等、特別損失合計370百万円を計上 					

2021年6月期セグメント別業績



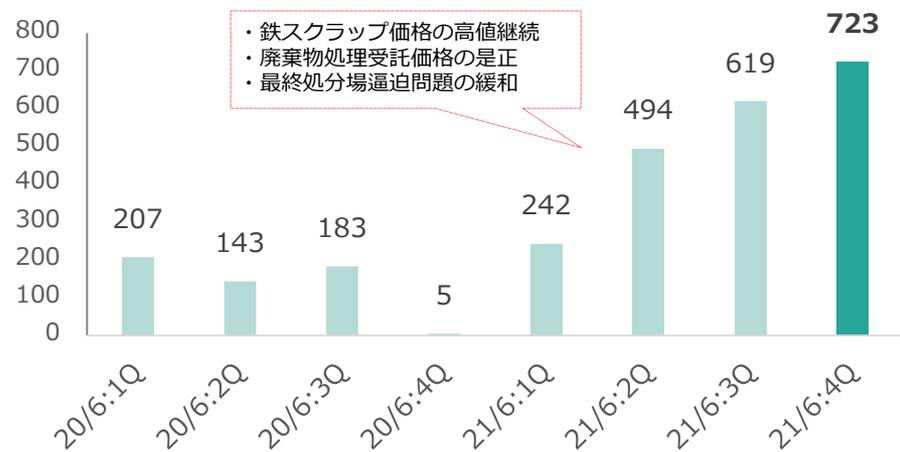
(単位：百万円)

		2020年6月期	2021年6月期			
		実績	実績	前期比		構成比
				増減額	増減率	
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	97	356	258	264.2%	0.8%
	経常利益	▲ 127	▲ 80	47	-	▲ 2.9%
				<ul style="list-style-type: none"> ▶ コバルト、ニッケル、銅価格の上昇 ▶ 大手電池メーカーからの仕入や処分業許可を活用した廃電池の処理受託等により取扱量増加し、収益性が向上 ▶ 減損損失437百万円の計上による減価償却費の減少もあり、第4四半期連結会計期間に黒字化するなど、赤字幅が縮小 		
その他	売上高	295	354	59	20.0%	0.8%
	経常利益	30	84	53	173.6%	3.0%
				<ul style="list-style-type: none"> 《障がい福祉サービス事業》 ▶ 各事業所の利用率が堅調に推移し、前期を上回る収益を確保 《環境経営コンサルティング事業》 ▶ C D P 評価向上支援、カーボンニュートラル戦略立案及びT C F D対応支援等の継続受注にサーキュラーエコノミー等のコンサルティングも加わり堅調に推移 		

セグメント利益四半期推移

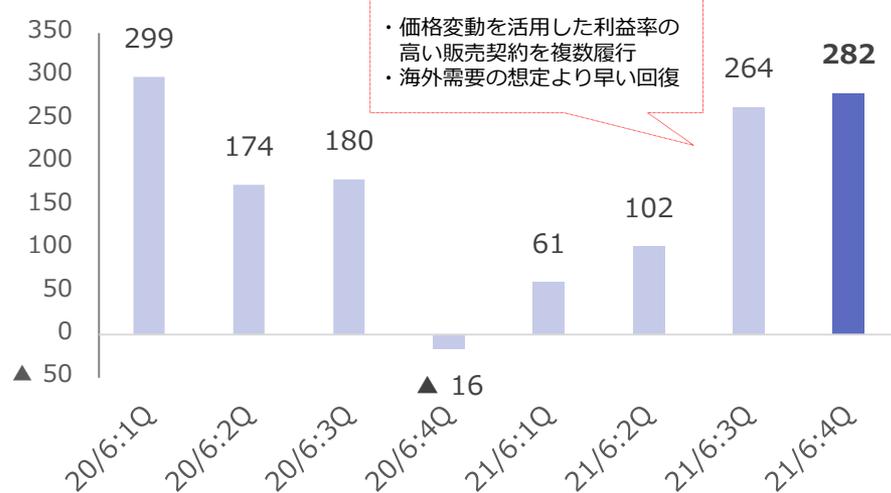
資源循環事業

(単位：百万円)



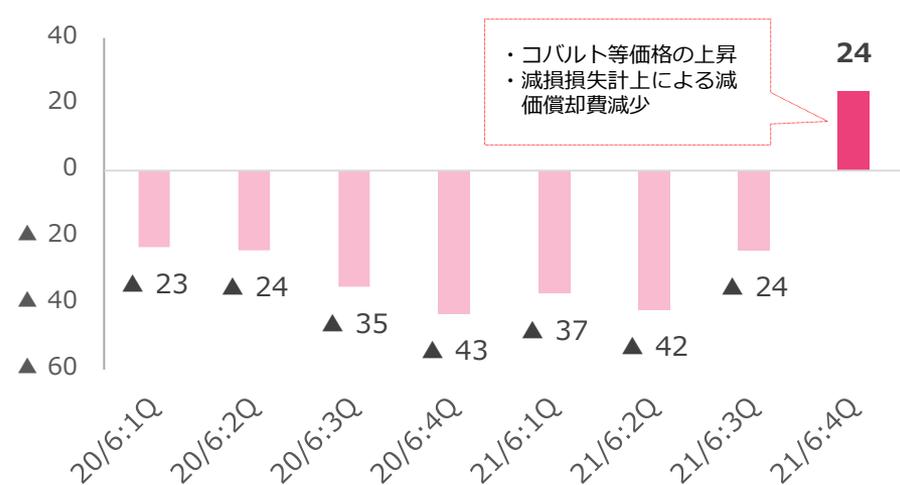
グローバルトレーディング事業

(単位：百万円)



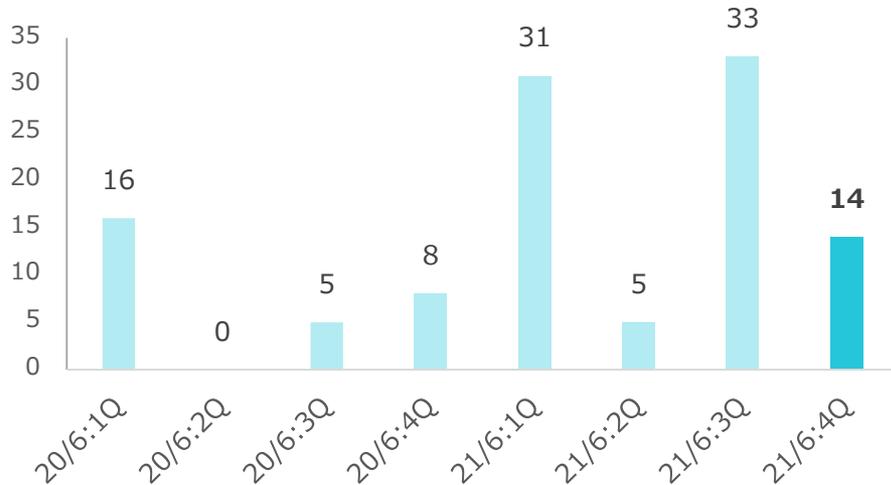
リチウムイオン電池リサイクル事業

(単位：百万円)



その他

(単位：百万円)



連結貸借対照表概要



(単位：百万円)

	2020年 6月末	2021年 6月末	増減額		2020年 6月末	2021年 6月末	増減額
流動資産	16,529	17,500	970	流動負債	7,499	9,765	2,265
固定資産	9,383	9,048	▲ 335	固定負債	6,401	3,450	▲ 2,950
（有形固定資産）	6,729	6,119	▲ 609	負債合計	13,900	13,215	▲ 685
（無形固定資産）	70	66	▲ 4	純資産	12,012	13,333	1,320
（投資その他の資産）	2,584	2,862	278	（自己資本）	11,654	12,959	1,304
資産合計	25,913	26,548	635	負債純資産合計	25,913	26,548	635

主要TOPICS（前期末比）

- 流動資産（商品及び製品2,374百万円、受取手形及び売掛金1,887百万円、現金及び預金▲3,124百万円）
- 固定資産（繰延税金資産271百万円、機械装置及び運搬具▲482百万円、建物及び構築物▲78百万円）
- 流動負債（短期借入金1,270百万円、支払手形及び買掛金1,061百万円、1年内返済予定の長期借入金▲907百万円）
- 固定負債（長期借入金▲3,010百万円）
- 自己資本比率 48.8%（2020年6月末 45.0%）

連結キャッシュ・フロー計算書概要



(単位：百万円)

	2020年6月期	2021年6月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,632	▲ 252	▲ 2,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,001	▲ 15	985
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,897	▲ 2,866	▲ 8,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 0	9	9
現金及び現金同等物の増減額	7,528	▲ 3,125	▲ 10,653
現金及び現金同等物の期首残高	2,714	10,242	7,528
現金及び現金同等物の期末残高	10,242	7,117	▲ 3,125

主要TOPICS

- 営業CF：(収入) 税金等調整前当期純利益2,101百万円、仕入債務の増加額1,273百万円、減価償却費736百万円
(支出) たな卸資産の増加額2,473百万円、売上債権の増加額1,885百万円
- 投資CF：(収入) 投資有価証券の売却577百万円
(支出) 有形固定資産の取得604百万円
- 財務CF：(収入) 短期借入金の増加額1,270百万円、長期借入金の借入333百万円
(支出) 長期借入金の返済4,250百万円

2. 2022年6月期 見通し

2022年6月期連結業績見通し



連結業績予想

売上高	54,000百万円	(前期比	31.9%増)
営業利益	2,390百万円	(前期比	12.2%増)
経常利益	2,850百万円	(前期比	13.6%増)
<u>当期純利益</u>	1,950百万円	(前期比	30.7%増)

業績予想の前提条件

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
50,000円/ t	1,000,000円/t	6,000円/g	85,000円/kg	1,800円/kg	4,650円/kg	105円/USD

主要TOPICS

- コロナ禍で先行きが不透明ながらも金属スクラップの需要は増加することを予想
- 資源価格の前提条件は前期末の水準に基づき予想
- 金銀滓回収量の増加
- 広域の解体・片付け案件の取り組み強化
- 輸出・輸入・三国間貿易と集荷ヤードの拡大
- リチウムイオン電池リサイクル事業の既存工場拡張、湿式製錬事業の調査を推進
- 気候変動関連及びサーキュラーエコノミーコンサルティングの需要増加
- 生産性の向上と一般管理費見直しによる固定費削減の効果を継続

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

2022年6月期連結業績見通し



(単位：百万円)

	2021年6月期		2022年6月期	
	実績	予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	40,933	54,000	13,066	31.9%
売上総利益	8,364	9,397	1,032	12.3%
営業利益	2,130	2,390	259	12.2%
経常利益	2,508	2,850	341	13.6%
税金等調整前当期純利益	2,101	2,856	754	35.9%
当期純利益※	1,491	1,950	458	30.7%
限界利益※	8,023	8,800	776	9.7%
EBITDA※	2,868	3,153	285	9.9%
純粋固定費※	5,895	6,379	484	8.2%
ROE	12.1%	14.2%	2.1%	17.3%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

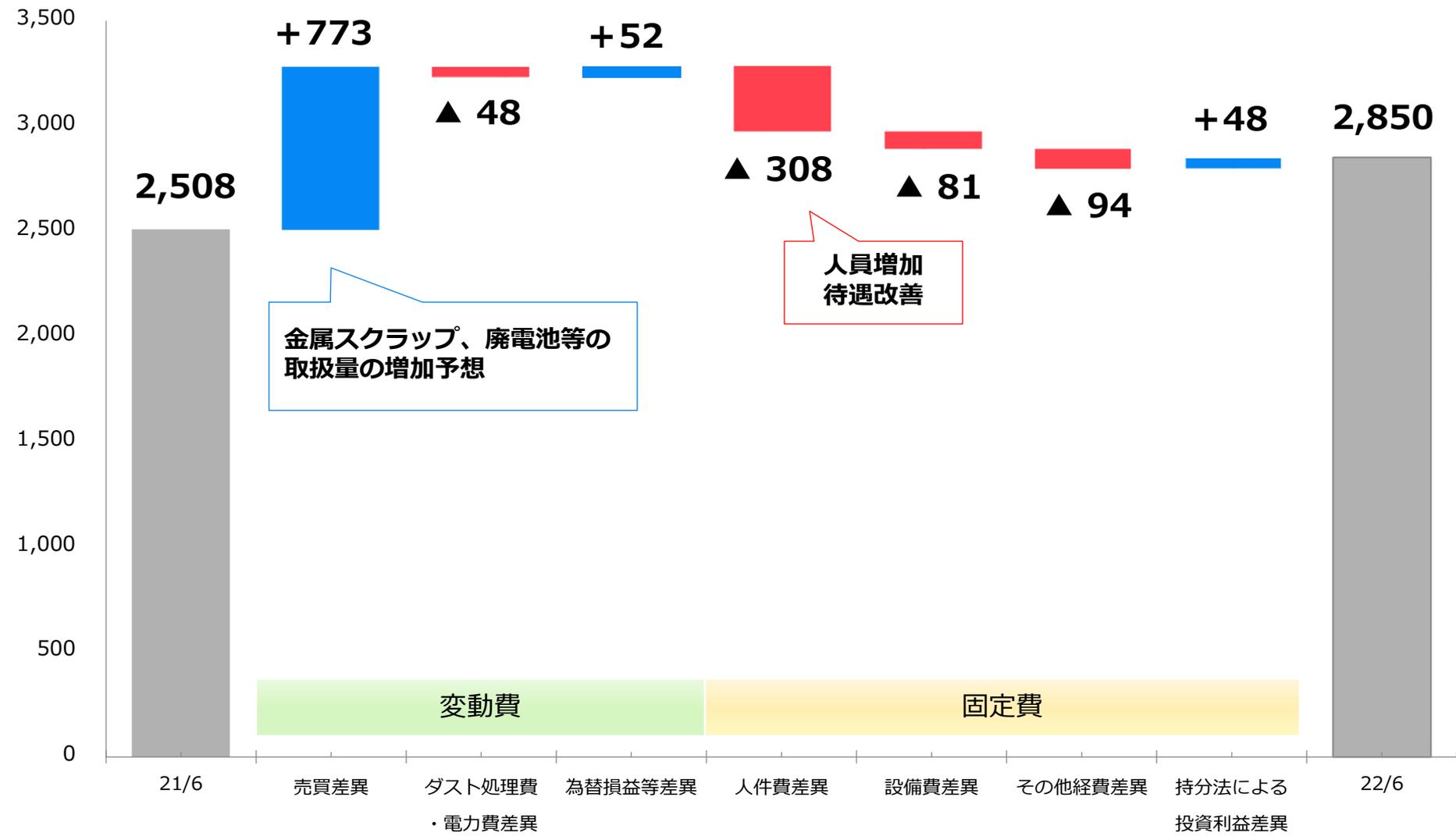
※限界利益＝売上高－変動費

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却

※純粋固定費＝【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】－【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

連結経常利益差異分析（前年対比）

(百万円)



2022年6月期セグメント別業績見通し



(単位：百万円)

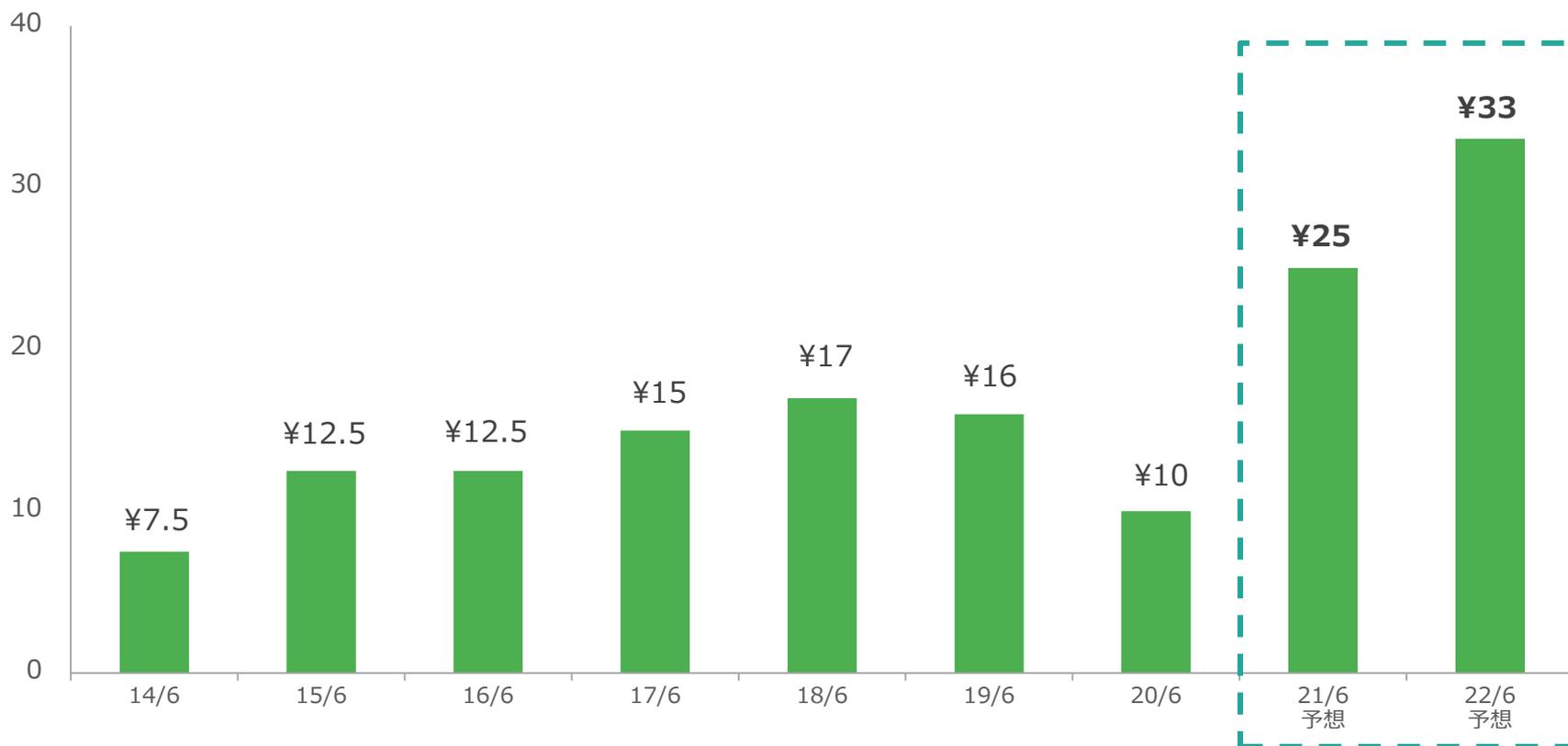
売上高	2021年6月期	2022年6月期			
	実績	予想	前期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	40,933	54,000	13,066	31.9%	100.0%
資源循環事業	14,216	17,325	3,108	21.9%	28.2%
グローバルトレーディング事業	31,033	43,223	12,190	39.3%	70.3%
リチウムイオン電池リサイクル事業	356	477	120	33.8%	0.8%
その他	354	406	51	14.6%	0.7%
調整額	▲ 5,026	▲ 7,432	▲ 2,405	—	—

セグメント利益	2021年6月期	2022年6月期			
	実績	予想	前期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	2,508	2,850	341	13.6%	100.0%
資源循環事業	2,080	2,339	259	12.5%	72.3%
グローバルトレーディング事業	711	816	104	14.8%	25.3%
リチウムイオン電池リサイクル事業	▲ 80	3	83	—	0.1%
その他	84	74	▲ 9	▲ 11.5%	2.3%
調整額	▲ 287	▲ 384	▲ 96	—	—

3. 配当方針

当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 20~30%を目標とする。
- 連結配当性向に基づく配当金が年間 10 円を下回る場合にも、年間 10 円の安定配当を目指す。



※2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。
1株当たり配当金は2014年6月期以前から株式分割が行われたと想定して算定しています。

4. 參考資料

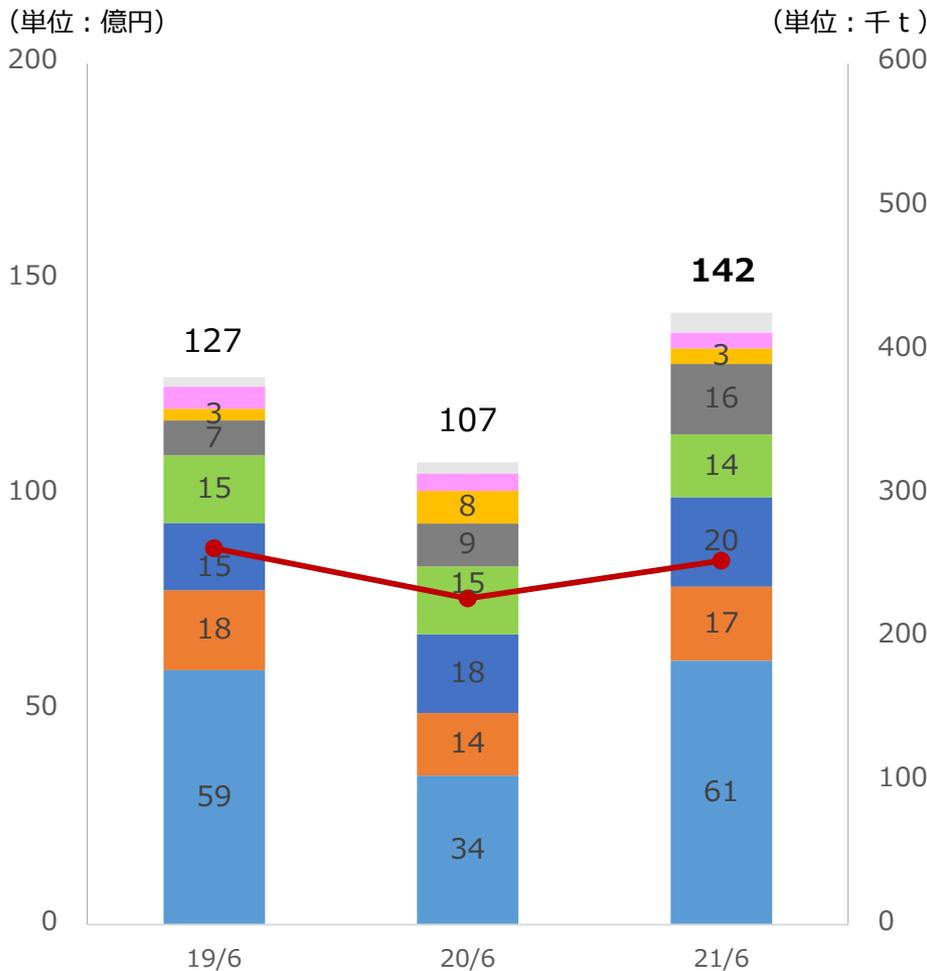
セグメント別：品種別売上高



資源循環事業

品種別売上高・資源取扱量

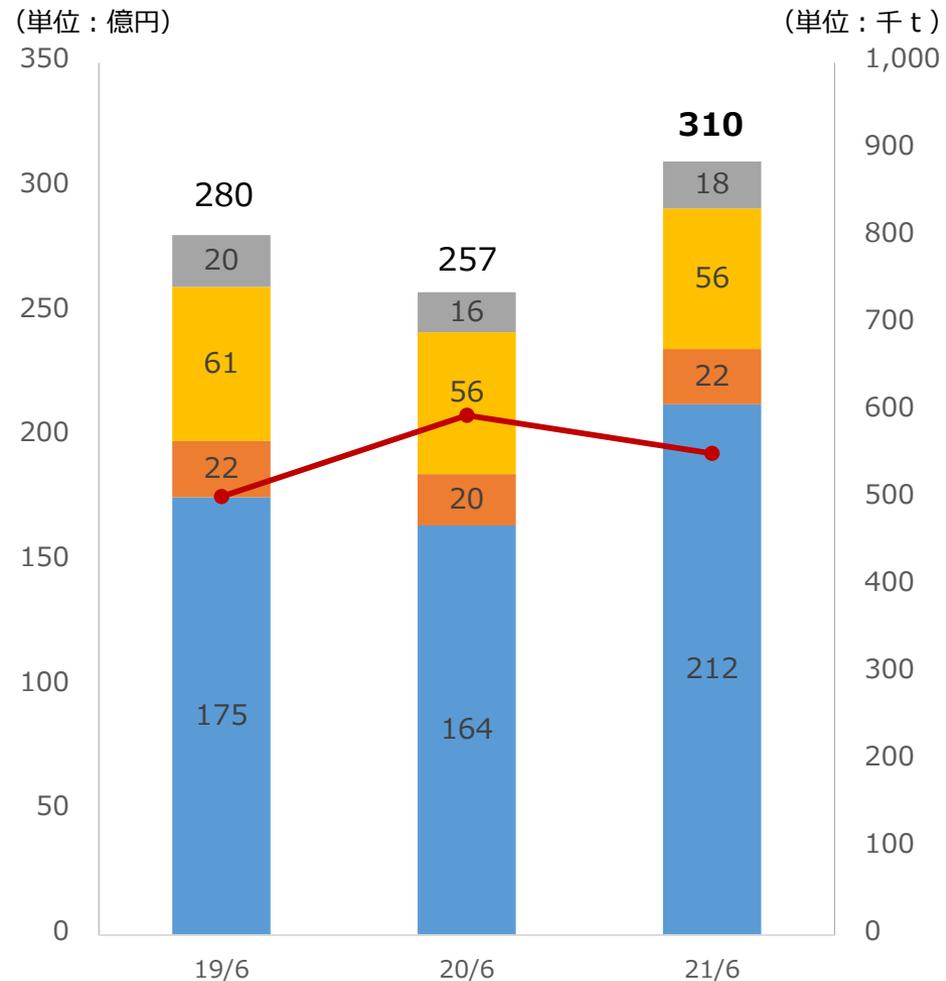
- 鉄
- 非鉄金属
- 逆有償
- ゴム製品
- 金銀滓
- 解体・片付け等
- RPF,製紙原料等
- その他
- 出荷量



グローバルトレーディング事業

品種別売上高・資源取扱量

- 鉄
- 非鉄金属
- 中古自動車
- その他
- 出荷量



品種別取扱量

(単位：千 t)

品目	2020年 6月期	2021年 6月期	増減率
鉄	601	578	▲3.8%
非鉄金属	33	21	▲36.3%
金銀滓※	2	3	35.5%
ゴム製品	12	10	▲11.8%
RPF等燃料、製紙原料等	46	57	23.3%
ブラックマス※	-	0.6	-
その他	23	20	▲12.4%
合計	719	693	▲3.7%

(単位：k g)

品目	2020年 6月期	2021年 6月期	増減率
金回収量	70	71	1.6%
銀回収量	1,069	1,244	16.4%

地域別売上高

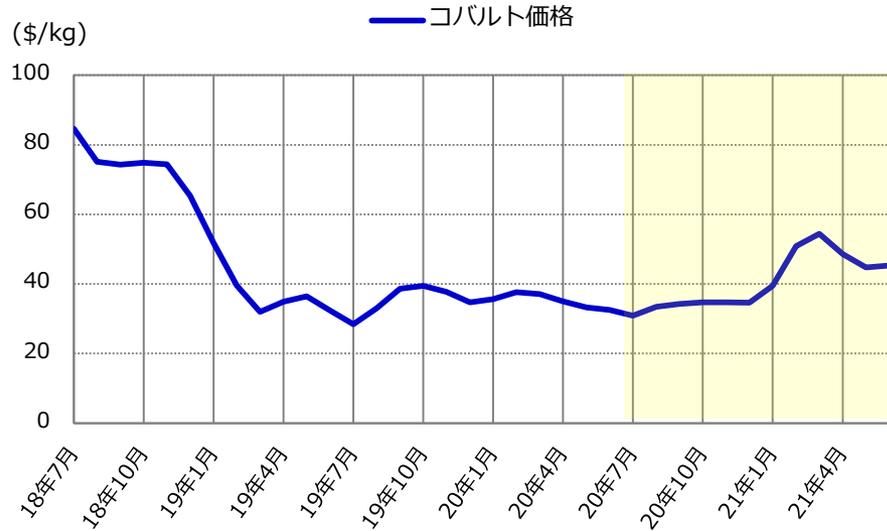
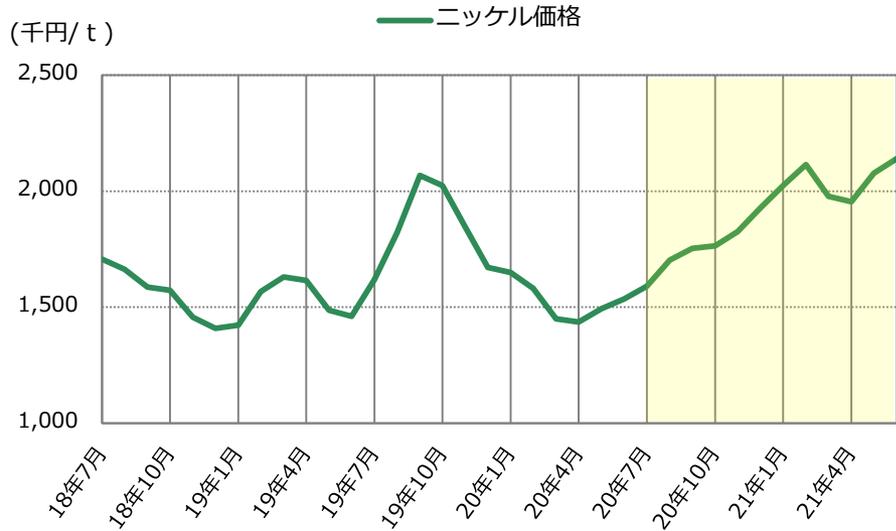
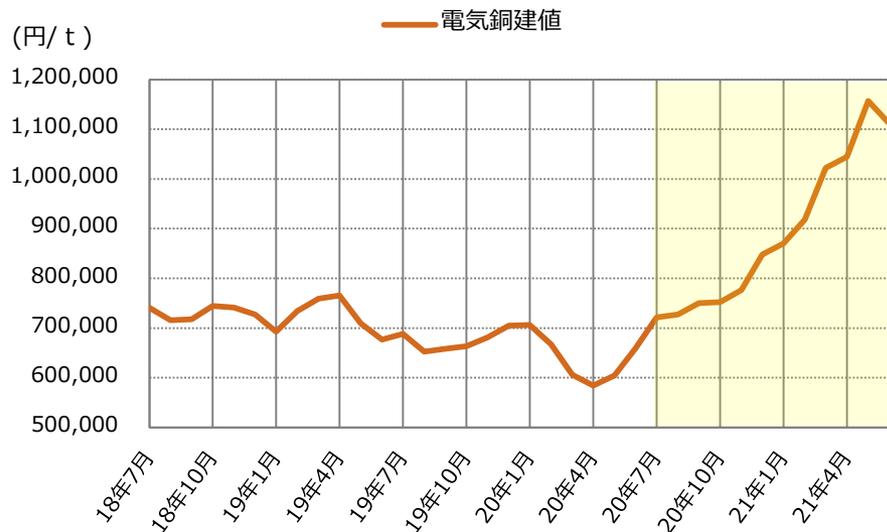
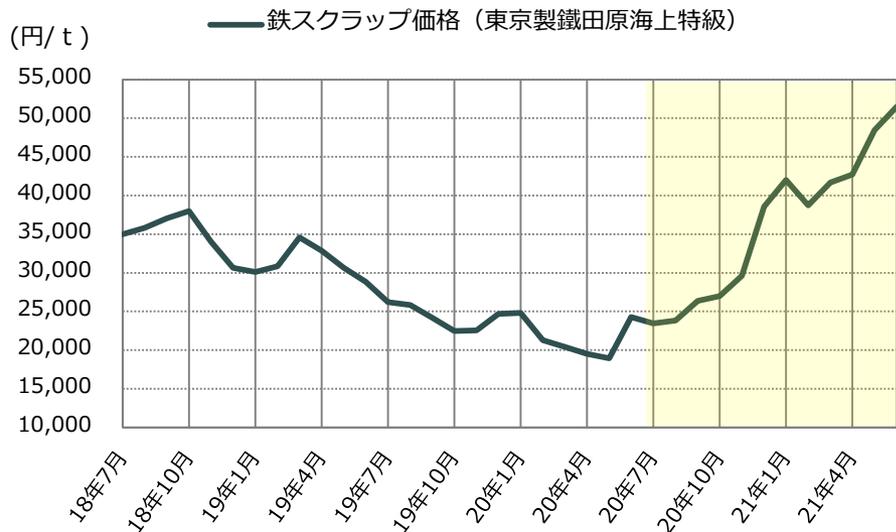
(単位：億円)

地域	2020年 6月期	2021年 6月期	増減率	
東アジア	日本	117	197	69.4%
	韓国	82	73	▲11.6%
	台湾	8	13	59.8%
	その他	3	8	149.4%
東南アジア	ベトナム	60	93	55.4%
	その他	33	13	▲61.2%
南アジア	インド他	4	3	▲21.7%
西アジア	UAE他	6	1	▲75.1%
南米	チリ他	8	2	▲65.1%
アフリカ	ウガンダ他	3	1	▲50.8%
その他	-	10	0	▲99.3%
合計	338	409	20.8%	

※金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

※ブラックマス：カーボンが含有されているコバルト、ニッケルの濃縮滓

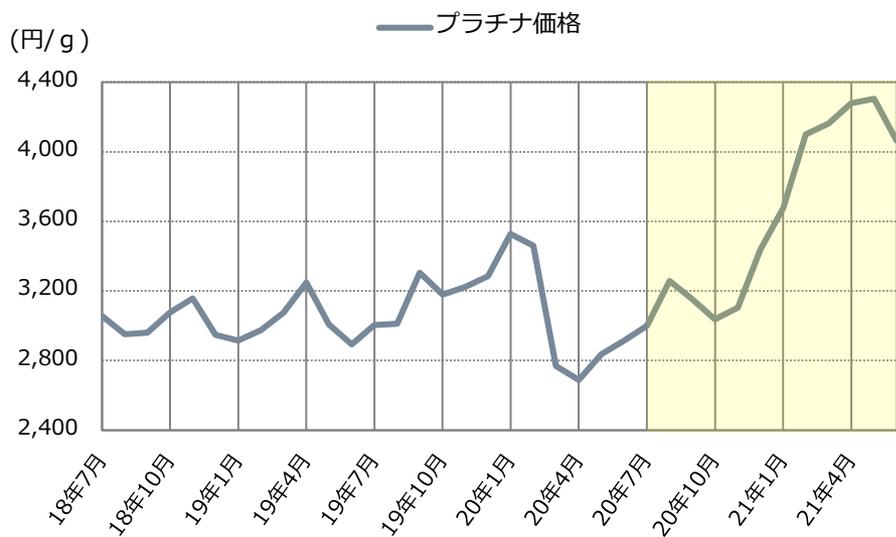
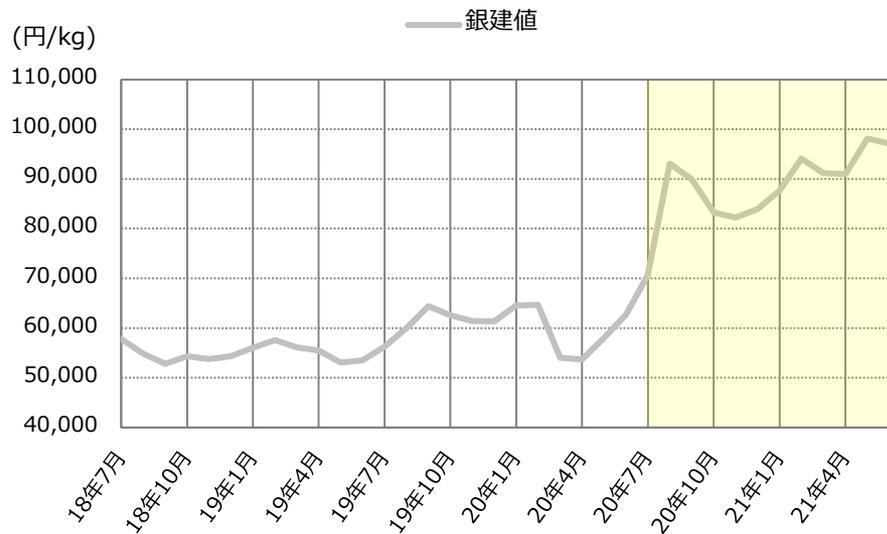
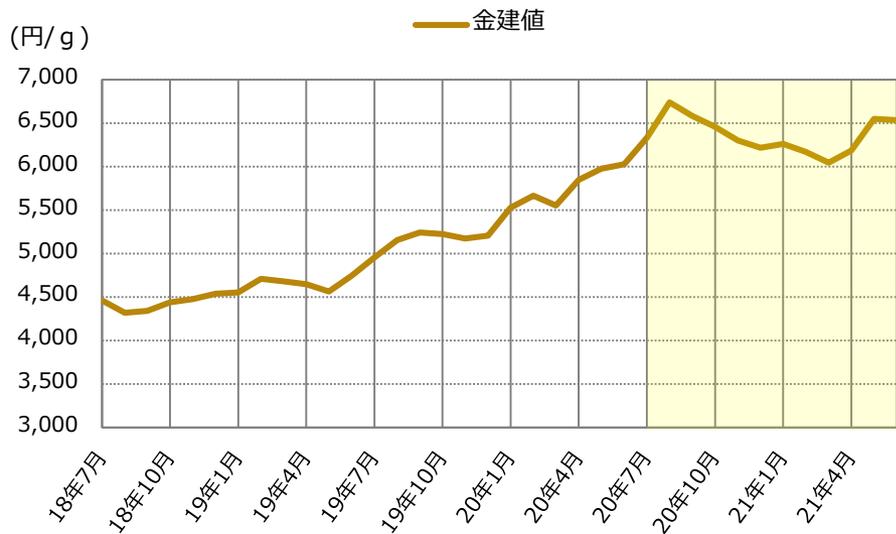
相場推移①



(出所) 東京製鐵(株)、日刊産業新聞

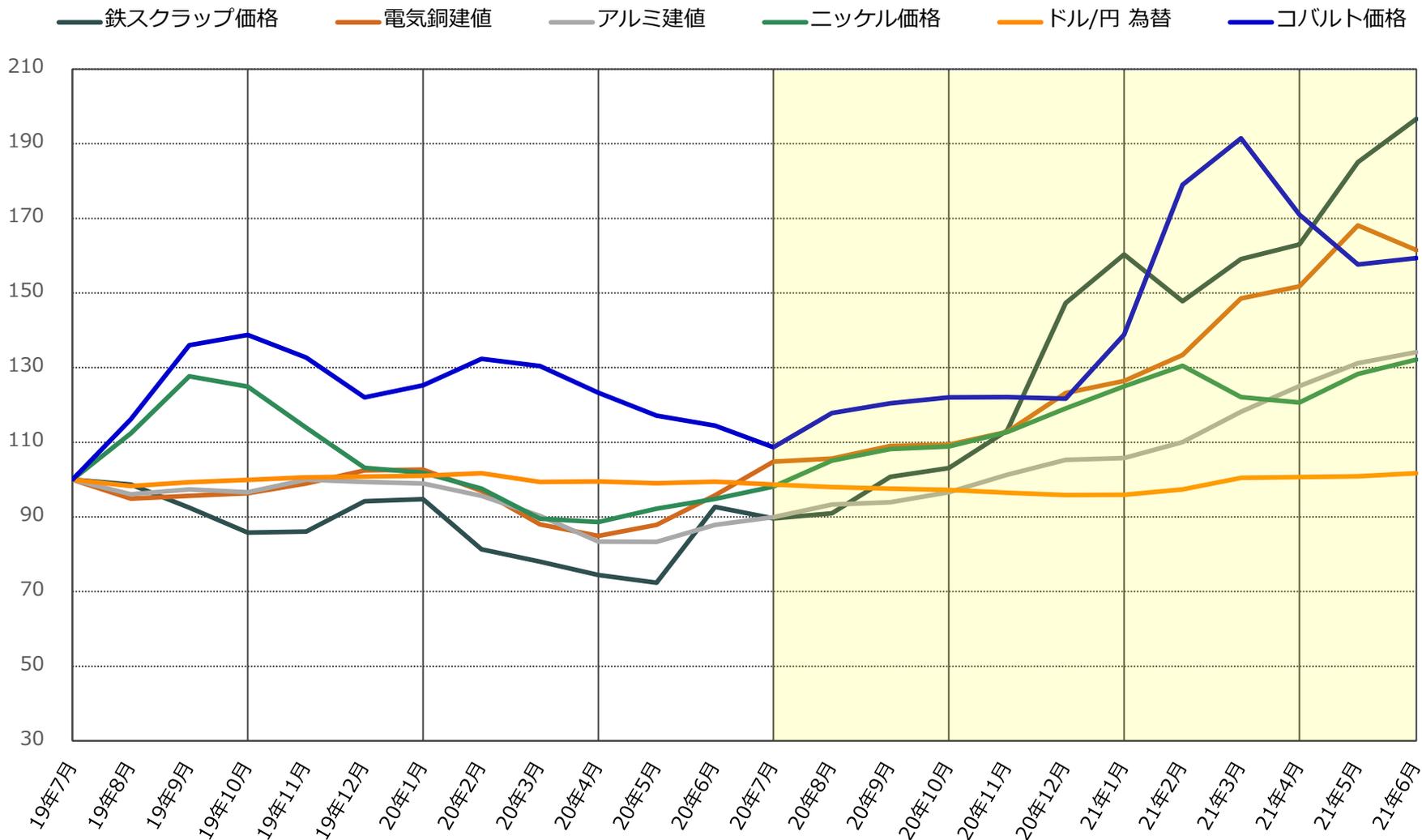
(出所) J X 金属(株)、IRuniverse(株)

相場推移②



相場推移③

金属相場の推移 (INDEX推移 2019年7月を100とする)



(出所) 東京製鐵(株)、J X金属(株)、(株)日本経済新聞社、日刊産業新聞、IRuniverse(株)、(株)三菱UFJ銀行

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>